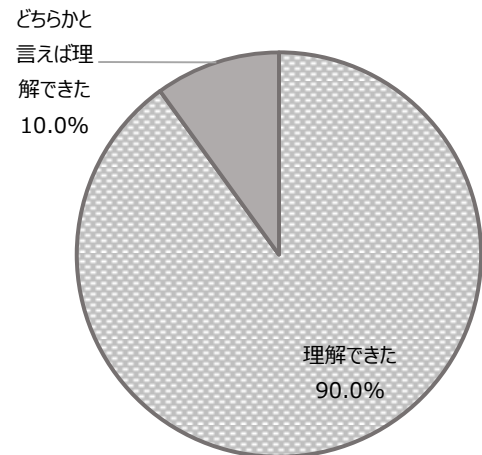


アンケート結果

Q1：今回の勉強会の内容について理解できましたか。

	回答数	構成比
理解できた	18	90.0%
どちらかと言えば理解できた	2	10.0%
どちらかと言えば理解できなかった	0	0.0%
理解できなかった	0	0.0%
無回答	4	-
計	24	100.0%



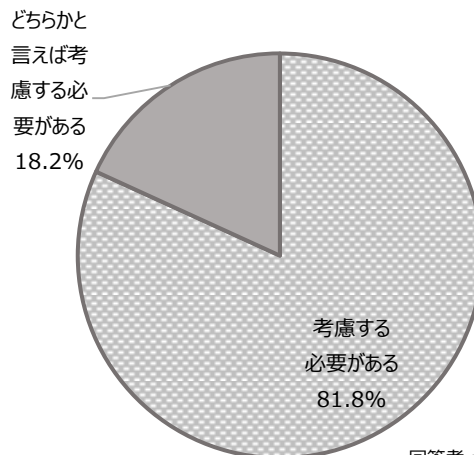
回答者：20 人

Q2：勉強会の内容で良かった点は何ですか。

- ☐ 将来、県内最大の経済拠点であることが明らかになった。（那覇地域周辺）
- ☐ 沖縄において、あと数年は利用者（貨物）が増える状況であることが知れた。
- ☐ 現在の空港の利用状況などが分かりやすかった。
- ☐ 広範囲における発着便が多発。
- ☐ 那覇空港滑走路増設の必要性、事業内容及び事業のスケジュールが分かった。（那覇軍港跡地利用に絶対影響があると思う）
- ☐ 軍港近隣事業であり、県の重要な工事であることから大変勉強になった。
- ☐ 細見氏の那覇空港と滑走路増設事業に係る説明で那覇空港と那覇軍港の跡地利用の関連性が大変勉強になった。
- ☐ 那覇空港滑走路増設に関しては理解できた。
- ☐ 全体計画概要が分かった。
- ☐ 建設工事の経過と増設の必要性など、具体的な資料で説明されていて良く理解でき、全体的な把握ができ良かった。
- ☐ 滑走路の工事日程が大変理解できた。
- ☐ 滑走路工事の進捗状況が良く分った。
- ☐ 滑走路の工法
- ☐ 具体的にマップ等での説明が良かった。（旅客の推移等）
- ☐ 分かりやすい説明で資料も詳しかった。
- ☐ 資料に沿って分かりやすく丁寧で、全ての説明が良かった。
- ☐ 内容を確認することができた。
- ☐ 資料の内容が分かりやすかった。
- ☐ 資料が良く出来ていた。
- ☐ 環境保全の考え方
- ☐ 今後も専門家の意見聴取（講演）の機会を持ってほしい。

Q3：那覇空港の動向は、那覇軍港の跡地利用を検討する上で考慮する必要があると思いますか。

	回答数	構成比
考慮する必要がある	18	81.8%
どちらかと言えば考慮する必要がある	4	18.2%
どちらかと言えば考慮する必要はない	0	0%
考慮する必要はない	0	0.0%
無回答	2	-
計	24	100.0%



回答者：22人

Q4：Q3で「考慮する必要がある」または「どちらかと言えば考慮する必要がある」とお答えの場合、特にどのような点を考慮する必要があると思いますか。

一方、「考慮する必要はない」または「どちらかと言えば考慮する必要はない」とお答えの場合、周辺環境としてどのようなことに考慮すべきと思いますか。

【考慮する必要がある・どちらかと言えば考慮する必要がある】

- 滑走路の増設と貨物ハブ化に伴う周辺、特に軍港跡地利用に関わる内容に影響を及ぼすことが考えられるので、関連施設建設、アクセスの仕方、公園、ホテル等の一般県民や市民、観光客の往来等含めた利用の在り方、ビジョンのきっかけを得る情報の点を考慮する必要がある。
- 高度利用について考慮する必要がある。
- 動線について考慮する必要がある。
- 空港と隣接する立地にあり、空港を活用した経済性を高める施策が必要。
- 旅客数が大きく変化するので、それを考えてのまちづくりが必要。
- 本島、離島は台風が多く発生する関係上、空港を利用する方に対する台風時の事を考えた施策が必要。（欠航した場合の対策等）
- 那覇空港及びANA沖縄貨物ハブ化であり今後の影響が大いにある。
- 人の数が直接影響する為、空港と跡地利用は必ず考えなければならない、離島である沖縄は窓口が空港か港しかない、そのどちらも近隣にある那覇軍港ではそれらを考慮して跡地利用を考えないと、とんでもない失敗した跡地利用計画になる。
- 「物流拠点」「トランシップ」又は「観光」「空港利便施設」等の跡地利用のコンセプト
- 空港整備（貨物ハブ等含む）、周辺開発とうまくリンクさせ軍港跡地利用につなげる必要がある。
- 空港より直接展示会場にアクセスできる周辺交通網を考慮する。
- 空港と港湾（那覇軍港を含む）交通の二大要素が含まれている関係上、これ以上の内容をもった土地は県内見渡しても他にはない。
- MICEの建設地が与那原に決定し第二空港（滑走路増設事業）も進んでいる。那覇空港、軍港は2028年に向けてどう対応するのか。
- 地主にプラスになることは協力の、マイナスな事は考える。
- 跡地利用は近接する那覇空港の動向（事業計画・実施）と密接に関連してくる、滑走路2本の規模拡大による旅客数の増加、貨物ハブ空港としてのアジア地域との物流の活性化に伴い、それと連動した跡地利用を考える必要がある。（観光関連施設、沖縄の農水産物の輸出関連施設等の設置）
- 一千万人の観光客を受け入れるにあたり、多くの人が見るであろう、那覇空港を沖縄の顔とするにはどうすればよいか考慮すべき。
- 那覇軍港の跡地は空港を利用した場所にすべきだと考える。

Q5：今後の勉強会でテーマとして希望する内容があればお書きください。

- 那覇市の港湾への考え方、市長を含め市としてどのようにしたいのか考え方を示してもらいたい。
- 那覇軍港の今後の返還スケジュールは地権者にとって最も関心の強い事項なので、行政（那覇市・県・国）の返還の時期と跡地利用計画を最新の情報に基づいて今一度テーマとして勉強会で取り上げてほしい。
- 跡地利用計画について今後開催の場を多く持ち、地主のプラスになる事について説明あれば協力する。
- 跡地利用、自衛隊（海上）・保安庁の動き。
- 辺野古の今後の状況、普天間の固定化の問題、浦添の軍港移設の時期等。
- 那覇軍用地の現状を知りたい。価値ある土地活用の種類。今何を急いすべきなのか。
- 地主の構想案を確かな実現に向けて多くの関係資料及び国際交流の人脈等を構築する。
- アジア経済戦略構想（平成 27 年 9 月沖縄県策定）における那覇軍港の活用方針
- （大型）商業施設を中心としない、都市型に適した跡地利用が他の都道府県、国にないのか。（収益性のある利用）
- 今後の活用を色々な面から引き続き勉強を行う。
- 空港を活用した軍港の施策等を取り上げてほしい。
- 県外、国外でのウォーターゲート事例の紹介。
- ウォーターフロント、臨海空に隣接する土地利用の在り方。
- （那覇空港跡地利用も含めた）周辺への波及影響として考えられる課題について
- 多方面にわたるテーマの勉強会を希望する。
- さらに増えるであろう、人や発着数等に対する更なるインフラ整備についての見解も聞きたい。自衛隊との共用の今後はどのようなになるのか。

Q6：那覇軍港の跡地利用についてなど、ご意見がございましたらご記入ください。

- 国内はもとより国際化に多用され将来の発展に寄与できると期待する。
- 今回の資料のように、航空写真に図示した跡地、周辺が分かるような説明も欲しい。
- 貨物がハブ空港になりつつあるが、旅客も日本から外国へのハブ空港となるように利用できたらいいと思う。
- 引き続き勉強会等を行う。
- 土地の大きさが限りあるので、高度利用を考えた跡地利用計画でなければいけないと思う。
- 最近沖縄県が策定したアジア経済戦略構想に那覇軍港跡地利用に関する記述があるが、地主の意見やこの勉強会での検討について全く触れられていないと思われた。地主会として危機感を持って地主会の意見を県当局に提示又は意見交換すべきであると思う。（でないとな他人が勝手に跡地利用を決めることになる、恐ろしい）
- 地主構想（案）を実現して欲しい。
- 2028 年の返還予定が見えない為、辺野古の今後の状況や普天間の固定化の問題、浦添の軍港移設の時期等について逐次勉強したい。M I C E の結果が出たので更に不透明になった。
- 軍港跡地は我々那覇市垣花出身者の先祖代々のふるさとであり、居住を希望する地権者の生活の場としての跡地利用は最優先事項と考える。
- 浦添市が港を完成してから軍港を引き受ける工事を始めるとのことだが今の時点でどこまで進んでいるのか、何ヶ月後に着工なのか見えない、次回にはそのあたりの事を説明できるようにしてほしい。